

令和 7（2025）年度
「長岡大学数理・データサイエンスプログラム」自己点検・評価

◆ **プログラムの改善・進化させるための体制（カリキュラム検討委員会）**

- 本プログラム改善の PDCA 管理、進捗管理
- 適宜、プログラム授業担当教員（3 名）と直接連携
- 教務委員会・FD 部会との連携履修関連の管理。マンツーマン面談情報・授業アンケート調査を通じた授業改善提案

◆ **自己点検・評価体制（大学評価室（自己点検・評価委員会））** 教学関連・学内外評価データで分析・チェック

◆ **地域社会との連携（長岡大学「地（知）の拠点」事業推進協議会）**

学外委員 8 名（商工会議所、商工会、市役所、市内高等学校、異業種交流団体 NPO、他）毎半期、教育プログラムを評価（4 段階評価の採点含む）

◆ **自己点検・評価、外部評価の結果**

〈自己点検・評価〉

令和 7（2025）年度の教育プログラムに関して、大学評価室（自己点検評価委員会）において概ね適切に実施されたとの評価を確認した。評価において参照したデータは以下のとおりである。

(1) 同プログラムの履修・修了状況

- 履修者数… 112 名（学内割合 27.3%：在籍者数 410 名に対する比率）
- 修了者数… 97 名（学内割合 23.7%：同上）
- 在籍者の累積履修者数…220 名（学内割合 53.7%：同上）
- 在籍者の累積修了者数…195 名（学内割合 47.6%：同上）

学年別の履修と成績は下記のとおりである：

令和 7（2025）年度の本プログラム構成科目「データサイエンス基礎」の履修者数と成績：

学年\評価	S	A	B	C	D	失格	合計
1 年生	40 名	19 名	12 名	11 名	9 名	4 名	95 名
2 年生	2 名	1 名		2 名		2 名	7 名
3 年生	3 名			1 名			4 名
4 年生	4 名	1 名		1 名			6 名
全体	49 名	21 名	12 名	15 名	9 名	6 名	112 名

(2) 授業理解度等の状況～授業満足度調査の結果から：

本プログラム構成科目「データサイエンス基礎」（令和 7（2025）年度）について実施された調査（調査期間：令和 7（2025）年 12 月～令和 8（2026）年 1 月）の集計結果（履修者数 112 名、回答者 81 名、回答率 72.3%）は以下のとおりである：

	その通り だと思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
授業内容は理解できた	50.6%	39.5%	7.4%	2.5%
新しい知識・技能等が身に付いた	64.2%	30.9%	2.5%	2.5%

回答者の内、「授業内容は理解できた」とする割合は 90.1%（昨年度 87.1%）であり、「新しい知識・技能等が身に付いた」とする割合は 95.1%（昨年度 95.2%）であり、概ね授業の目標は到達できていると考えられる。

○ 履修者数・率の向上に向けた計画・履修率の目標

履修率	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
目標	—	27%	54%	78%	91%
実績	8.7%	30.3%	53.7%	—	—

■ 実施計画

令和 6（2024）年度からのカリキュラム改善の一環として、「データサイエンス基礎」を卒業要件として 1 年次必修科目とした（教養科目、1 年次配当、2 単位）。あわせて、全学的に数理・データサイエンス・AI 教育を重視する旨を明示するため、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）も変更した。必修化前後においても「データサイエンス基礎」では、必修化前と同内容の教育で実施している。新カリキュラムの年次進行によって、令和 9（2027）年度には履修率 100% をほぼ達成できる見込みである。

令和 7（2025）年度時点において計画をやや下回る実績値となっている。これは、計画策定当初と比較して入学者数が想定を下回っていることにより、全在籍学生数に対する新カリキュラム対象の在学生割合が想定よりも低いことが主な原因である。

また、令和 9（2027）年度においても履修率が必ずしも 100%にならない理由は、休学や留年等により、「データサイエンス基礎」が必修化されていない旧カリキュラムの学生が一部在籍すると想定されるためである。

〈外部評価の結果〉

教育体制の改善に向けた内部質保証の一環として毎半期開催している「長岡大学『地（知）の拠点』事業推進協議会」において、教育カリキュラム等を始め教育内容全般を評価頂いている。

令和 8（2026）年 3 月 10 日開催の令和 7（2025）年度 第 2 回『地（知）の拠点』事業推進協議会で、令和 6（2024）年度から本プログラムの授業科目「データサイエンス基礎」が必修科目になり、令和 7（2025）年度で 2 年目になったことに加え、今年度の本プログラムの内容と実施状況を報告し意見を頂いた。

同協議会后に各委員から提出頂いた令和 7（2025）年度の項目別評価票によると、数理・データサイエンス プログラムに関する項目の評価（4 段階評価）は、「大いに評価できる」3 名、「評価できる」2 名、「あまり評価できない」0 名、「全く評価できない」0 名という結果であった（3 名欠席により 5 名が提出）。「大いに評価できる」から順に 3 点、2 点、1 点、0 点と重み付けをした場合、評価の平均は 2.6 点となる。

さらに、委員の一人からは「数理・データサイエンスプログラムは非常に魅力的なカリキュラム

だと感じました。AI を使いこなす力は今後必要であり、学生がその苦手意識を持たずに学べるのは素晴らしいことです。」とプログラムに関して具体的なコメントも頂き、全体としてプログラムが順調に進捗しているとの評価と考えられる。